様式第２号（第１０条関係）

会議記録

附属機関の名称	熊谷市環境審議会
開催日時	新型コロナウイルス感染拡大に引き続き警戒を要することから髙村会長と協議のうえ、書面会議とした。 １０月１９日、書面会議の議事及び資料について各委員あて郵送。１１月１日まで意見を募った。
出席者 （書面会議参加者）	【委員　15 名】 高村弘毅（会長）委員、新井千明（副会長）委員、鈴木パーカー明日香委員、大久保照夫議員、田中正委員、秋山茉里議員、佐藤広明委員、出井哲司委員、八木伸一委員、後藤素彦委員、青木登喜代委員、髙橋孝子委員、栗原和江委員、小山省吾委員、安野三夫議員
問い合わせ先 （所管課）	環境部環境政策課（江南庁舎２階） ℡　048-536-1547（内線 203）
内容	【議題】 熊谷市環境白書（令和３年度版）（案）及び環境施策に対する意見収集 【内容】 １　回答 新井委員、小山委員の２名から別紙のとおり意見があった。 ２　意見に対する対応 本議題の環境白書については、諮問、答申案件ではなく、令和２年度の報告、意見聴取を趣旨とした。よって、意見については別紙対応一覧表のとおりとすることとし、環境政策課で環境白書を修正、公表するものとした。 ＊白書の説明、委員からの意見とその対応は別添資料のとおり

熊谷市環境白書（案）及び環境施策の説明

環境白書におきましては、平成 30 年度に作成しました「第２次環境基本計画」に基づく報告書という位置づけとなっており、現在作成中の白書は令和２年度の実績をまとめたものです。

案を作成するにあたり、ワーキンググループを書面開催し、新井委員、後藤委員、栗原委員、秋山委員から頂いた御意見を反映したものを提案させていただきます。

令和２年度の主な環境施策の取組は

① 第３次熊谷市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】の策定
　市域全体の温室効果ガス削減目標と施策
② 熊谷市地球温暖化防止活動推進センターについて「NPO エコネットくまがや」を指定
③ ムサシトミヨ生息数調査で生息数倍増
④ 外来生物クビアカツヤカミキリ被害防止事業開始
⑤ 気候変動適応策として暑さ対策の推進
　外付け日よけアシスト事業など新たな取組

となっています。

白書では現在の環境問題の中心である地球温暖化対策と生物多様性の保全を特集として巻頭に掲載し、①から③を記載しました。

また、新型コロナウイルスの影響も大きかったです。

対面式の環境講座、イベントなどの啓発活動はほとんどが中止となり、環境保全団体の皆さまも大変苦慮したことかと思いますが、その説明を第４章の最後に掲載しました。

数値目標についてですが、昨年までは「進捗状況」として数値の解説をするのみでしたが、今年から「現況と課題」とし、今後の課題についても触れるよう追記しました。

構成や盛り込むべき事項について御意見をいだければと思います。
以上が環境白書の説明となります。

続いて、環境施策に対する御意見ですが、皆さまのそれぞれのお立場から行政に対する御意見や、協働できる取組などを御紹介いただければと思います。
お忙しいなか大変恐縮ですがよろしくお願いいたします。

熊谷市環境白書（令和３年度版）（案）への御意見等一覧

環境審議会でいただきました御意見と対応一覧は、次のとおりです。

No	御意見 ※【】内はワーキンググループの白書（素案）における該当箇所	対応 ※【】内はワーキンググループの白書（案）における該当箇所	発言者	所管課
１	【Ｐ５６】中段コウノトリの写真の横に 「関東エコロジカル･ネットワークの指標種であるコウノトリに関しては､荒川と利根川流域に位置する本市でも､これまでに野生復帰個体の飛来が観察され､市民の関心が高まっています｡」と追記したらどうか。	環境政策課でも情報を確認しており､御提案のとおり追記しました。	新井委員	環境政策課
２	【Ｐ４６】　（マイクロ）プラスチック対策について､令和４年度版以降､記述できるような施策を実施していただきたい。	本年４月からペットボトルエコステーションの設置（P44）を夏期だけでなく、通年としており、令和４年度版の環境白書には、こうした廃プラスチックへの取組を記載する予定です。	小山委員	環境推進課
３	誤字､脱字の修正について５ヶ所	御指摘のとおり修正しました。	小山委員	環境政策課